

# おいでよ ころほ



春

教室・講座、やりたいことを実現！

平成 28 年

内川の歴史をたどる P2-3 身近なところに地域力あり P4 いろんなスポーツでつながる P5  
ころほの配食活動をご紹介 P6 ころほ de アートの報告 P7 イベント掲示板 裏面 P8



## 暮らしを映しながら 内川の今昔

写真撮影：中山 岳人さん

海苔養殖全盛期や高度経済成長の時代、内川は地域の生活と産業を支えていました。大正時代に大規模な改修が行われ、ほぼ東西に延びる現在の姿になりました。

その河口は今、ふるさとの浜辺公園の海につながります。

川岸と沿道は整備され、春の川面は桜や草花のあでやかな姿を映し、訪れる人々の心を癒めてくれています。

# うちかわ内川

の歴史をたどると見えてきた。地域の繋がり。

大田区中馬込・東馬込・西馬込・南馬込及び品川区西大井地区にまたがり、こらぼ大森の南側から近い場所を流れる内川。海の潮の干満にあわせて水面が上下する 1.55 kmの運河です。内川の流れが、地域の歴史と深く関係し、また人々も繋げていたのです。

## 明治 45 年の流れ



昔は、3つの川が合流して1本になっていたんだね。沼や湧水もあちらこちらにあったそう。内川橋のところで六郷用水も合流していたんだよ。

### 六郷用水って、なに？

江戸時代に新田を増やすために作られた水路です。多摩川の水を取り入れていました。現在、用水の跡地は道路や緑道になっています。

## 大正 6 年の工事で現在の 1 本の流れに



● 昔の流れを伝える石碑（図枠外にも2ヶ所有り）

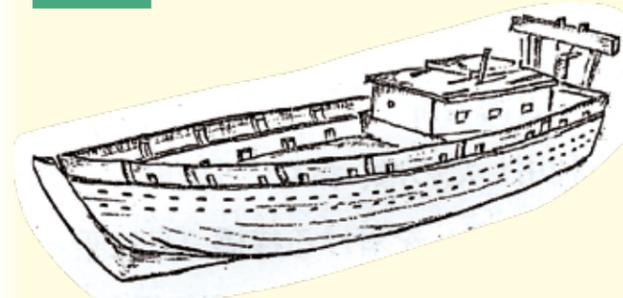
工事のおかげで水深が深くなって、海苔舟や漁船が行き交うようになったんだ。



←源流の石碑

# 流れ

## 海苔舟



「伝馬（てんま）」とよばれる舟が海苔を運んでいました。海苔業の発展に、内川も大きく貢献していたんだね。

### 大森海苔のふるさと館に行ってみると

国の重要文化財に指定されている昭和 30 年代に造船された最後の海苔船が展示されています。

## 飲み水

昔の流れの時は、流域の人々は内川の水を飲んでいたんだ！ 周辺の湧水などで、農家の人たちがとれた野菜を洗っていたんだって。

# 利用



内川の歩道 桜のプロムナード

# 「子ども達にとってふるさとだから」

開桜小学校発行の「わたしたちの郷土」という本では内川の歴史や自然が紹介されています。本の編集委員や協力者であった福富淑恵さんと瀬藤久美子さんから、編集に関わった経緯や、内川への思い、子ども達への想いを伺いました。

**福富さん** 子どもが大森第二小学校三年生の時に、小滝先生から「内川はね、昔飲み水だったんですよ。これを伝えていかないと誰も知らないことになってしまうから、お母さん達で調べてみませんか？」とお話して下さったのがきっかけなんです。当時は内川はヘドロが浮かんで凄く汚かったのに、昔は飲み水だったなんて驚きでしょう！父母と先生で一年間かけて調べて出来た本が「わたしたちの内川」。その本に、開桜小学校の当時の校長である西村先生が着目してくださって、地域の人たちや専門家も呼んで、肉付けしたのが「わたしたちの郷土」なんです。

**取材者** 本の中で、自然が取り上げられていますが、当時の様子だと自然に関心がいまよりも思っているのですが。  
**福富さん** 東京都の方針で内川が全川※暗渠になる予定だったの。仕方ないと思ったけれども、大事な川と知った以上、何かをしたい。そして、内川自然を愛する会を先生や子ども達と作って、身近な自然を勉強して細々とやってきたの。  
**瀬藤さん** 当時の内川は日本のワーストランキングに入るくらい汚染されていたんだけど、先生や地域の皆様が居たから、諦めずにこの活動を続けてこられたのね。  
**福富さん** そうね。大森は海苔が

大事な産業で、海苔舟を作っていた舟大工さんとの出会いもあったりと、人との繋がりが広がっていった。内川が汚いとか言われても、愛おしくなっていたの。大田区に内川を地下に埋めたいって陳情書も提出したのよ。  
**瀬藤さん** 先生の働きかけに励まされる親も居て、結局、人なんですよ。人と人が繋がっていく。  
**福富さん** 何だかんだいっても子ども達にとって故郷なんだから、大事にしたいよね。  
**瀬藤さん** 環境学習で子ども達も勉強する機会がもっと増えるといいわね。是非、伝えていきたい。  
**福富さん** 地域の誇りですよ。

# 人々

## Check Point !

※暗渠（あんきょ）とは地下に埋められた水路 →

内川の下流は、暗渠にならなかったから、カモ類も飛来できるんだね！護岸の耐震対策や緑化も進み始めて、これから楽しみだなあ♪



- 昭和 51 年 内川上流はほとんど暗渠化
- 昭和 56 年 東京都が中小河川の暗渠化を決定
- 昭和 63 年 暗渠化の見直し
- 平成 4 年 内川下流の暗渠化取りやめ
- 平成 10 年 内川環境整備計画で区民に親しまれる河川を目指す

## 身近なところに地域力あり

大森西地区民生児童委員協議会  
高柳 泰樹

大森西地区の民生児童委員協議会は、4つの部会と主任児童委員部会、そして44人全員で活動する子育て支援という計6部会で成り立っています。4つの部会とは、生活福祉・障がい福祉・高齢福祉・児童福祉の各部会で、それぞれの部長の統率のもと約10名の部員で構成され、各部会で専門分野について部長は大田区18地区ある全体の部会に出席し、討議・研鑽をつみ、それを地区部会に持ち帰り報告し、研修し、奥を深める活動を行っています。

西地区は他の地区に比べて委員の数が多く、十分な意見交換ができ、良い成果が出せていると思います。

私たち民生児童委員に求められるのは、支援を必要とする人たちをいち早く見つけ出し、行政とのつなぎ役になるよう活動しています。どうか地域の皆様もお気づきの事がありましたら、お近くの民生児童委員にご相談・ご連絡くださいますようお願いいたします。

大森西地区民生児童委員協議会の定例会のことを紹介させていただきます。

私たちの活動は、毎月1回の地区民生児童協という会議で始まります。この会議は44人の委員と、大森西特別出張所長、大森地域福祉課長、社会福祉協議会で構成されています。この場で、東京都及び大田区より各委員に任務が依頼されます

が、詳細は多数無数にあるので割愛させていただきます、私が感じていることを書かせていただきます。

急速に進む少子高齢化は、大田区においても高齢化率25%を超え、4人に1人が65歳以上ということになり、家族の形態を見ても以前のように3世代同居が減り、核家族が主流になってきました。そして高齢者の1人暮らしが急増してまいりました。

さらに、これまで家族の機能を補い、ともに支え合ってきた地域社会が弱体化し、地域の助け合いも以前ほど期待できなくなった今、介護や子育て、生活困窮者、障がい者が安心して暮らせるよう支援活動することが、私たち民生児童委員に求められています。このような点からも、こらぼ大森の日頃の活動と相まっているように思います。互いに連携を深めて、協力しあえることがあると思います。



ボレボレ ECO まつりで“食事作り”のお手伝い

## 人・地域・団体が “いろんなスポーツ”でつながる”

日本スポーツ文化創造協議会  
新居 彩子 さん

日本スポーツ文化創造協議会は、「スポーツで人をつなぐ」を理念に2007年に発足しました。協議会単体でコンテンツ提供はせず、他の団体との協働や連携による事業をマネジメントする役割を担い、多様なスポーツを通して人をつなぐことを目的に活動しています。

ご縁があって、こらぼ大森の共同事務室に5年間入居させて頂き、その間に地域の方々と出会って様々な事業を始めました。体育館で子どもたちに多様なスポーツ体験の場を提供する「いろいろスポーツ教室」は、こらぼ大森、大田区地域力推進課、ハンドボール・トランポリン・カバディ等の各協会との協働事業として始め、今年で9年目になり、満員の人気スポーツ教室へと成長しました。

こらぼ大森2階にあるコミュニティカフェのお客様の提案で生まれたのが「大人のバレエサロン」で、健康と美容に良

い運動として30～60代の方が毎週レッスンしています。そこに一時保育を付加した「保育つきバレエサロン」は、育児不安解消や幼児虐待予防という地域課題を解決する子育て支援事業として、区内のママたちに大変好評です。大田区地域力推進課、こらぼ大森、NPO法人ネットワークBear、NPO法人大森まちづくりカフェなど、地域で活動する団体と協働しているからこそできる社会事業です。

こらぼ大森で出会った方々のおかげで、地域ニーズを知ることができ、協働・連携によって地域力を結集でき、地域の人たちが集まる憩いの場をつくることのできるのです。こらぼ大森でつながる協働事業の素晴らしさを、もっと多くの方々に知って頂けると嬉しいです。そして新たな出会いから、新たなアイデアや事業が生まれ、より活気のある地域になっていくことを期待しています。

親子で手をつなぎ、カバディ・カバディ



保育も信頼できてママもリフレッシュ♪



トランポリンってたのしい!!



# こらぼの配食活動をご紹介します!

こらぼ大森では「けやき」「こらぼ このはな」「サポートぱんぷきん」の3団体が、高齢などの理由で安定した食生活を送りづらい方々を対象として配食活動を行っています。

栄養バランス・食べやすさ、もちろん美味しさにも配慮したお食事を届けるだけでなく、その活動や交流を通じて「いつも地域で見守ってくれている人がいる」という安心を利用者の方々に得て欲しいという思いから続けられており、地域の中で人と人との繋がりを作るという意味でも大切な役割を果たしてくれています。

家族の形態も多様化し、一人暮らしなどで頼れる相手が近くにいないという方も多くなってきた現在、こういった地域による助け合いの基盤が作られてることは、私たちにとってますます大きな意味を持つことになるでしょう。

## 会食会でお味をお試し下さい!



奇数月の  
第1土曜日1時  
こらぼ大森1F  
軽食ルームにて  
1食700円  
※シニア対象です。

お問合せ先は裏面掲示板をご参照ください。



「けやき」のみなさん

活動団体	配食曜日	時間帯	1食	問合せ先
けやき	月	昼	500円	03-3762-0266 (城南保健生協)
こらぼ このはな	火・金	昼	700円	090-8081-1267
サポートぱんぷきん	水・木	夕	700円	03-5753-6560 (こらぼ大森)

## こらぼ大森 配食活動グループのおすすめメニュー

### 鶏と春キャベツの蒸し和え

材料(4人前)

鶏もも肉1枚、春キャベツ1/4個、調味料は適量

作り方



お醤油売り場にある白だし。薄めて使えば、吸い物にそばつゆなどに、使えます。便利な調味料です。

- ①鶏もも肉1枚を塩、胡椒、酒にまぶす。キャベツはざく切りにする
- ②鶏もも肉を蒸し器で20分蒸す(電子レンジの場合はラップをして表面4分、裏に返して3分)厚い所を見て生の状態だったら2・3分蒸す時間を足す。
- ③鶏肉の上にざく切ったキャベツを乗せ、3分蒸して火を止め、鶏肉を一口大に切る。
- ④蒸した鶏肉とキャベツを「白だし」大さじ1~2杯で和える。

<こらぼ このはな>  
佐野さん メッセージ

春はお花も梅、桃、桜と咲きほころび、山菜をはじめ露、たけのこ、とび魚とたくさんの海の幸、山の幸にめぐまれるめぐみの季節です。

我が家では卒業、入学とうれしいことが続きました。うれしい事が素直にうれしいと思えるまでに何年かかっただけでしょうか。

# こらぼ de アート

NPO 法人大森コラボレーション

今回で第2回目です。  
地域の方150人がご来場!  
皆様ありがとうございました!

地域と区民の皆様とこらぼ大森をアート通じて結ぶ第2回「こらぼ de アート」。昨年に続き2回目の今回は、町工場の製品と、絵手紙や絵画や生け花作品など幅広いご出展を頂きました。

講演会では、近隣の和鋼機株式会社の松本大代表取締役社長が、町工場の仕事とご自身の実体験を縦横にお話しされました。また、大森学園高等学校工業科の生徒の皆さんの、災害時の電力確保の方策として自転車を使って発電しスマホを充電する、実演を交えた研究発表もありました。

参加された方からは「町工場の事業を進める前向きな気持ちが伝わってきました」「自転車でスマホを充電できるのに驚きました」等の感想も出され、初めて聞

く町工場の話や実演を交えた高校生の話に感心した様子でした。

展示コーナーをご覧になった方からは「作品から気持ちが伝わって来ます」「自分も来年は作って展示したい」等うれしいご感想を頂きました。出展された方からは「自分が作ったものが展示されて嬉しい」というご感想も頂きました。

出展くださいました皆様、ご参加ご協力くださいました皆様に、感謝申し上げます。

区内には、創作活動を通じて地域や社会をつなげる・つながる活動が活発に行われている地域もあります。

こらぼ大森では、これからもこうした区民活動を応援していきたいと考えています。

松本社長(右)に質問タイム



大森学園の生徒さんが自転車発電機を発表

アートの展示ブース



実施日: 3月11日(金)~13日(日)  
主催: 特定非営利活動法人大森コラボレーション  
ご出展: 17団体・個人  
ご講演: 松本大氏(和鋼機株式会社 社長)  
ご協力: 大田教育支援の会、近隣町工場の皆様、チーム職人魂

イベント名	4月	5月	6月	会場	主催団体	連絡先
ママのための コーチングサロン	-	12.26	9.23	会議室	CSRコーチング	080-6785-5677 (福井)
大人の英会話交流会	12.26	10.24	14.28	会議室	英会話同好会 INOTA (略称: EDO会)	03-3729-3849
てらこや@こらぼ	毎週木曜日			会議室	子ども教育支援の会グループてらこや	03-6676-7837 (事務局団体: ゆうえい)
保育付 やさしいバレエサロン	21	12.19,26	2.9,16 23.30	多目的室等	日本スポーツ文化創造協議会	03-6912-6813
いろいろスポーツ	10,17,24	15,29	12.26	体育館 又は グラウンド	日本スポーツ文化創造協議会	03-6912-6813
会食会	-	7	-	軽食コーナー	食事サービス連絡会	03-3742-5507 (村山)
健康チェック	第3火曜日			いろいろルーム	城南保健生協	03-3762-0266 (阿部)
福祉エアロビクス	毎週土曜日の予定			子ども交流センター 音楽室 他	大森コラボレーション	03-5753-7884
健康講座	第3木曜日			多目的室	大森コラボレーション	03-5753-7884
げんき元気セミナー	第1木曜日			多目的室	大森コラボレーション	03-5753-7884
みんなの囲碁・将棋教室	第2土曜日			多目的室	大森コラボレーション	03-5753-7884
絵手紙教室	第2土曜日			多目的室	あざみ会	03-3771-9655
折り紙教室	第3土曜日			多目的室	あざみ会	03-3771-9655
水彩色鉛筆画教室	6	-	1	情報交流室2	情報交流室2 (おおたOrganic Farm)	03-3763-7314
リアンで作る アクセサリー	15	20	17	情報交流室2	情報交流室2 (おおたOrganic Farm)	03-3763-7314
ソープカービング	19	17	21	情報交流室2	情報交流室2 (おおたOrganic Farm)	03-3763-7314
メディカルハーブ講座	20	-	-	情報交流室2	情報交流室2 (おおたOrganic Farm)	03-3763-7314
リフレクソロジー	26	24	28	情報交流室2	情報交流室2 (おおたOrganic Farm)	03-3763-7314
welcome party (学童入室式)	1	-	-	子ども交流 センター	子ども交流センター	03-5753-6801
フリーフリーマーケット (雨天中止)	-	21	-	グラウンド	子ども交流センター	03-5763-6801

どこでも！だれでも！簡単！

## グラウンド・ゴルフ体験会 2 回目

と き：4月15日 金曜日 10:00～11:30

場 所：こらぼ大森 グラウンド

参加費：無 料 (用具はお貸しします)

内 容：細かいルールはありません。グラウンド・  
ゴルフの楽しさを体感して下さい。

主 催：NPO 法人大森コラボレーション

本冊子 2P-3P 内川の参考文献

「わたしたちの内川」

内川・自然を愛する会 発行 1988.12

「わたしたちの郷土」

大田区立開桜小学校 地域教育連絡協議会 発行 2007.3

「今昔マップ on the web」

<http://ktgis.net/kjmapw/>

「国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス」

<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

## MAP



発行者 齋藤十四男

発行日：2016年4月5日

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住 所：〒143-0015 大田区大森西 2-16-2

電 話：03-5753-6616

URL：<http://collabo-ohmori.com/>